

ほりのうち

堀之内地区

(新潟県魚沼市)

- 計画期間 平成20年度～平成24年度
- 面積 220ha
- 交付対象事業費 478.8百万円
- 市人口 34,904人

ポイント 歴史・文化資源を活かした街なかの賑わい再生

地区概要

地域の祭り、神社、特産物のユリ等地域資源を活用したまちづくりを進めるとともに、雪に強い道路交通網の整備により、交通アクセス強化と利便性の向上を図る。

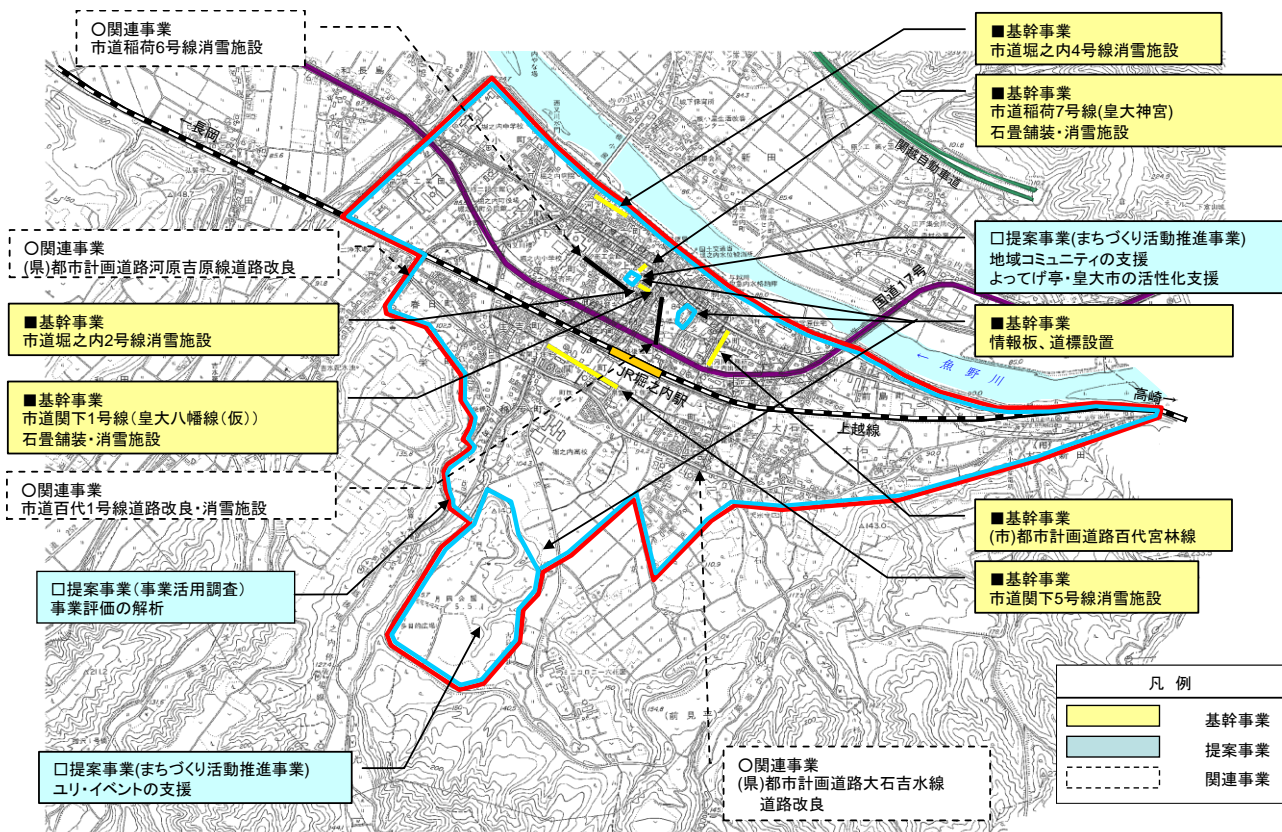
目標 地域の歴史・文化資源を活かし、街なかの賑わいを再生するとともに交通網の整備により、活力とうるおいのある安心して住み続けられる中心市街地の形成を目指す。

指標 道路等の生活環境基盤整備を進め中心市街地の役割を高めることにより地区内定住人口の減少を鈍化させる。また、各種イベントにより観光客等の交流人口の増加させることを目標とした。

地区内定住人口	4,223人 (H19)	→	4,005人 (H24)
観光客入込客数	68,266人 (H19)	→	71,493人 (H24)
交流施設利用者数	5,340人 (H19)	→	5,509人 (H24)

事業内容

基幹事業 (468.4百万円) →道路 (6路線 幅員2.7~17m、延長848m)、情報板・道標設置17箇所
 提案事業 (10.4百万円) →地域コミュニティの支援、よつげ亭・皇大市の活性化支援、ユリ・イベントの支援、事業評価の解析



地区の現況と課題

当地区はJR上越線越後堀之内駅を中心に市街地を形成しており、平行して国道17号が走り、上越線による南側の住宅地と北側の商店街の分断が課題となっている。また、地区内人口の高齢化や減少が進み、中心商店街は近隣への大型店やコンビニ等の進出により地元商店での購買力の衰退が見られ後継者不足と売上不振のため衰退している。

その他当地区は日本有数の豪雪地であり、消雪パイプなどの施設整備が不足しており、冬期間の道路交通確保に苦慮している。



空き店舗利用の交流施設「よってげ亭」

提案事業の特徴

地域コミュニティの支援

堀之内地区の地域活性化のため、地域コミュニティをより広く地域住民を巻き込んだまちづくりの検討会に発展させるとともに、地域の青写真作成のための活動を支援する。

よってげ亭・皇大市の活性化支援

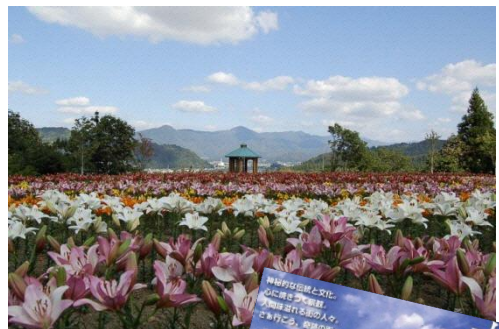
現在、堀之内商工会が中心となり空き店舗活用交流施設「よってげ亭」や月1回のフリーマーケット「皇大市」の運営を行っている。この活動を広く内外にPRし、交流人口を増やす取り組みを行う。

ユリ・イベントの支援

月岡公園花（ユリ）広場で特産物のユリの植込み・掘取りを市民の手により行うほか、ユリを主体として先の「よってげ亭・皇大市」などとタイアップを図り、観光客を呼び込むなど都市公園を積極的に活用し、地場産業の育成と特色のあるまちづくりを進める。



・皇大神宮参道（市道稻荷7号線）の石畳舗装と月1回開かれる「皇大市」



計画策定プロセス

魚沼市都市計画マスタープランの策定

「いつまでも住みたい、いつかは住んでみたい」次の世代に良い都市環境を引き継ぐことができる持続可能なまちづくりを目指すことを基本理念に掲げ公募による住民代表を検討委員に交え、地区ごとの課題を掘り下げるなどして都市計画マスタープランを策定した。

まちづくり委員会の開催

地域住民が堀之内地区の活性化のため「まちづくり委員会」を組織しボランティアの協力の下「よってげ亭」や「皇大市」などの各種事業を行っている。今後はこの組織を再編強化し、市の関係部署も加わったなかで堀之内地区のまちづくりのあり方を協議していく。



・月岡公園花広場とユリ・イベントのポスター、パンフレット